

# 交差する イメージ

## 文学とアート

2023年

12月 11日(月) 13日(水) 15日(金)

18日(月) 20日(水) 22日(金)

龍谷大学大宮キャンパス  
本館1F 展観室

時間 10時30分～17時30分

主催 龍谷大学ユヌスソーシャル  
ビジネスリサーチセンター  
企画 松本拓(研究員)  
問合せ yshrc@ad.yukoku.ac.jp

入場無料

いまはこんな役立たずだが、先には何かちゃんとした道具の体をなしていたと思いたくなるのだが、別にそうでもないらしい。少なくとも、これがそりだといつた手がかりがない。以前は役に立ったらしい何かがとれて落ちたのでも、どこが壊れたのでもなさそうだ。

いかにも全体は無意味だが、それはそれなりにまとまっている。どちらかがとれて落ちたのでも、どこが壊れたのでもなさそうだ。しかし何かがとれて落ちたのでも、どこが壊れたのでもなさそうだ。おろはいえ、はつきりと断言はできない。オドラデクときたら、おそろしくちよこまかしていく、どうにもならない。

はいえ、はつきりと断言はできない。オドラデクときたら、おそろ

屋根裏にいたかと思うと階段にいる。廊下にいたかと思うと玄関にいる。おりおり何か月も姿を見せない。よそに越していただくせに、

そのうちきっと舞いもどつてくる。ドアを開けると階段のてすりに、そのうちきっと舞いもどつてくる。ドアを開けると階段のてすりに、

そのうちきっと舞いもどつてくる。ドアを開けると階段のてすりに、そのうちきっと舞いもどつてくる。ドアを開けると階段のてすりに、

むろん、むづかしいことを訊いたりしない。チビ助なのでついそう

なるのだが、子どもに言うよう言ってしまう。

「なんて名前かね」

「オドラデク」

「どこに住んでるの」

「わからない」

# 交差する イメージ 文学とアート



1

H・K《イカ怪獣III》たんぽぼの家

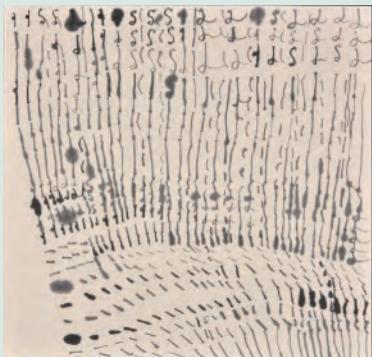
見よ、そいつは消えた場所から、ふたたび悠然と浮上してまたではないか。みんなは一瞬、モービイ・ディックのことなどほとんどわすれて、この世にも奇妙な現象にただただ目を見はつた。それは秘密好きの海がこれまで人間に開陳したことがないような眺めだった。長さも幅もファーロング単位ではかるのがふさわしそうな、乳白色の螢光を発するブヨブヨした巨大ななかたまりが海に浮かび、その中心からは無数の長い腕が放射状にのび、まるで大蛇の集團が体をひねったりくねらしたりして、運悪くちかづくものをば容赦なくつかまえようとしているかのようだった。顔とか頭とかいったものはない。感覺や本能があるといった徵候もない。この世のものならぬ、つかみどころのない、生命の偶然の発現といったものが、ただ波間にただよっているのであつた。

メルヴィル「白鯨」



小松 和子《螢光灯の音の光》  
たんぽぼの家

近年、日本国内では障害者アートへの注目が高まっています。障害を持った作家たちの既存の芸術枠組みにとらわれない表現は、見る者に新鮮な驚きと強烈な印象を与えます。本展では障害者アートと文学作品を並べて展示します。文学作品を読んでアートを見る、最初の印象が変化します。またアートを見て文学作品を読むと、その印象も変化します。何度も見返すと、作品の境界はおぼろげになり、互いに溶け合い、1つのイメージが湧きあがってきます。新たに解き放たれたイメージの中で、見る者の感性は躍動するでしょう。今回、作品を出展するやまみ工房は国内外で高く評価される作品を生み出し続けており、たんぽぼの家は日本の障害者アート活動を牽引してきた施設です。なお文学作品の選定、監修は龍谷大学の教員と大学院生が行っています。



2

澤井 玲衣子《piano note No.2》たんぽぼの家

ひかりとあそびたい  
わらつたり  
哭いたり  
つきとばしあつたりしてあそびたい  
八木重吉「光」

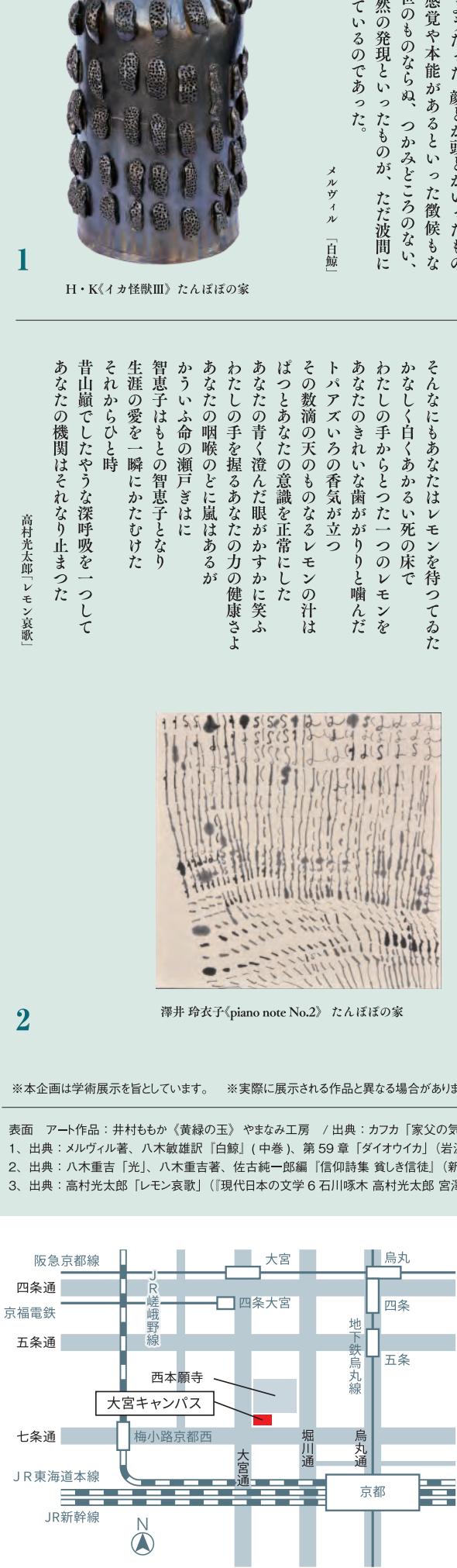
3

## 龍谷大学 大宮キャンパス

Tel 600-8268  
京都市下京区七条通大宮東入大工町 125 番地の 1  
TEL 075-343-3311  
FAX 075-343-4302

## Access

- JR 東海道本線・近鉄京都線・京都市営地下鉄烏丸線 「京都」駅下車、北西へ徒歩約 10 分（市バス約 3 分）
- JR 山陰本線（嵯峨野線）「梅小路京都西」駅下車、北東へ徒歩約 10 分
- 京阪本線「七条」駅下車、西へ徒歩約 20 分
- 阪急京都本線「大宮」駅下車、南へ徒歩約 20 分（市バス約 5 分）



\*本企画は学術展示を旨としています。※実際に展示される作品と異なる場合があります。

表面 アート作品：井村ももか《黄緑の玉》やまみ工房 / 出典：カフカ「家父の気がかり」、池内紀説『変身ほか』（カフカ小説全集4）白水社、2001 発表年：1919

1、出典：メルヴィル著、八木敏雄訳「白鯨」（中巻）、第59章「ダイオウイカ」（岩波書店、2004・10、pp.211～212）発表年：メルヴィル（Herman Melville）「白鯨」1851年

2、出典：八木重吉「光」、八木重吉著、佐古純一郎編「信仰詩集 貞しき信徒」（新教出版社、1958年12月、14頁）発表年：1928年

3、出典：高村光太郎「レモン哀歌」（『現代日本の文学6』石川啄木 高村光太郎 宮澤賢治集』学習研究社、1971）262頁 発表年：高村光太郎「レモン哀歌」1939年



詳細は  
こちらから

障害者アート展を  
開催しませんか。

みなさまも

企業、学校、病院など、  
どこでも開催します。  
ご興味がございましたら、  
下記までご連絡ください。

龍谷大学  
ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンター  
ysbrc@ad.ryukoku.ac.jp